テーマ②　どうやったら互いに信頼して利用できるか？

1.【基本姿勢・マナー】

- あいさつをきちんとする
- あいさつを知らない人にもする
- コミュニケーションをとる（あいさつだけでもＯＫ）
- あいさつなど何か統一性をもたせる
- 自分のことを話す
- 相手の話をよく聞く
- 相手の話を否定しない
- 会話の内容を全否定しない（助言する）
- 見下しをしないで尊敬の意を持つ
- 共感の態度
- 清潔な服装を心がけ
- ていねいな言葉づかいを心がける
- 声がけしてたのしく話す
- 私語を慎む、必要ないことは話さない
- 守秘義務について理解する
- 個人情報の漏洩をしない規約などをしっかりする
- 利用に関して他人（家族）に話さない
- なるべくタバコくさくない方が良い



2.【活動内容・具体的な依頼・ルール】

- 母をカラオケに送迎してほしい
- LEDに替えてほしい
- 班長業務を手伝ってほしい
- 電話に出る、返信する
- 互いに依頼確認出来る
- サービス提供だけが目標じゃない。会員同士の助け合い
- 土日祭日休みなく利用できる
- 送迎時の保険などの入れる
- なるべくゴールド免許所持
- 資格を持っている事を知らせる
- 評判を見える化する、コメント（いいね）が分かる。
- 信用のつみあげ→信頼になる　だから見える化
- サービスした方からありがとう
- キャンセルの連絡

3.【地域連携・組織体制】

- 各地区担当ＣＤＮ（コーディネーター）を設置
- 各地区担当の社会福祉協議会職員と連携
- 地区の町内会議に利用してもらう
- 地区単位のコミュニティでネットワークを作っていく
- 保育園からも送迎の提案先にしてもらう
- コーディネーターの信頼
- 知人からの紹介できる（担当者）しくみをつくる
- 使ったことのある人からの紹介
- 会員情報の開示

テーマ②　どうやったら互いに信頼して利用できるか？

４．【広報・周知・イメージ戦略】

- ココロネットの事を知ってもらう
- 具体的利用事例をＨＰで紹介
- 動画（アニメ）などでつながりのイメージを見てもらう
- お試し資料
- ちゃんとしたホームページ
- 広報メルシーなどで画像と何をしているかを掲示
- 地域の集まりの場所にチラシ
- 公民館でチラシ
- 学校で呼びかけてイベント参加してもらう
- ココロネットのマークを作る（信頼は笑顔）
- ココロネット図鑑
- 様々なコミュニティで活動事例含めた紹介
- CMを打つ



５．【交流・マッチングの場】

- 交流会の開催
- 体育館近くでウォーキングと併せた交流会を開く
- 社協の部屋で交流会
- 婚活パーティーみたいなマッチング会をする
- まずは一回お茶を飲みに行く。顔あわせの会
- やっぱり交流会　つながる・知る
- 仕事外での交流
- 老人会の集い
- 初めての利用は目澤さん含めた三者面談
- マッチングの際に、協力者の簡単なプロフィールを見れる

６．【コミュニティの活性化・課題抽出】

- 今、最も切実な問題をはっきりさせる
- 困った場合の相談窓口を教えてもらうところを周知
- こんな事で利用して良いのかと迷う
- それぞれの思いを共通の掲示板などで出す
- LINEグループでやりとりをオープン
- みんな同じ対応
- 名刺をつくる
- 他団体参加者にリクルート
- できるだけ地域のイベントに参加する
- 地域イベント参加でポイントゲット
- ちょっと順番に強制参加

